

# 令和4年度 東京都立千歳丘高等学校 学校経営報告

## 1 今年度の取組み目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

	計 画	報 告
① 組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年および分掌の指導目標を教職員全体で共通理解し、組織的に教育活動を行うとともに、学校改革を更に推進する。</li> <li>・主幹教諭や主任教諭が職層に応じた役割を果たし、学校経営に参画する意識の向上を図る。</li> <li>・ライフワークバランスに配慮し、業務分担を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議や職員会議で学年や分掌の指導目標を周知し、教育活動を行った。</li> <li>・分掌の中心となった主任教諭が力を発揮した。各職層で職責に応じて職務を遂行し、教育活動をさらに活性化することが課題である。</li> <li>・産業医面接対象者は4名であった。0名を目指して配慮を継続する。</li> </ul>
② 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会を定期的に行い、組織的な教科指導や人材育成を行う。</li> <li>・放課後、長期休業中の補習を積極的に行い、基礎学力の向上や発展的な学力を育成する。</li> <li>・習熟度別授業、少人数授業や選択講座を通し、きめ細かい指導を行い、確かな学力を身につけさせる。</li> <li>・1年生の国語、数学、英語の学力の定着と向上を図る。実施にあたっては、東京農業大学教職課程との連携を模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な教科会の開催し、教科主任会議は年間8回開催した。指導と評価(観点別評価)の一体化については、今後も研究が必要である。</li> <li>・定期考査前を中心に、各学年で放課後補習を実施し、学力の底上げを図った。夏季講習は、3年生対象18講座、2年生対象7講座、全学年対象2講座を実施した。</li> <li>・数学ⅠとⅡで2クラス3展開の習熟度別授業を行った結果、生徒の理解度がアップし、教員の力がより発揮された。</li> <li>・学年と教科が連携して、国語、数学、英語を中心に学力を定着させるべく補講を実施した。学業不振による中途退学者数は0名であった。補講に参加した生徒からは前向きな感想が寄せられた。東京農業大学教職課程との連携については、講義が対面に移行されたこともあり学生との日程調整がつかず、校内努力で対応した。</li> </ul>
③ 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通したキャリア教育年間指導計画のもとに、生徒一人一人の進路実現を目指す。</li> <li>・進路指導部の方針のもとに、各学年・教科が生徒の情報共有し、より効果的な進路指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と学年が連携し、キャリア教育全体計画に基づいて進路行事を計画、実施した。</li> <li>・大学等推薦による進学希望者80名(昨年度106名)を対象に全教員体制で小論文指導を実施した。</li> <li>・卒業時点での進路決定率は85%(昨年84.6%)であった。次年度も、生徒の希望進路の実現と進路決定率の向上を図る。</li> </ul>
③ 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員で生活指導方針を共有し、校則を順守させ、いじめ、暴力、校外での問題行動など未然防止を徹底する。</li> <li>・全員に「身につけさせる規律・規範」の6項目。</li> <li>◎自転車通学や公共交通機関利用時のマナーを守る。PTAと地域の協力のもと登校安全運動週間を設定する。</li> <li>◎制服をきちんと着用し、適切な身だしなみを心がける。</li> <li>◎適切な髪型と装飾品等の未着用を徹底する。</li> <li>◎挨拶をきちんとし、人の話を丁寧に聞く。</li> <li>◎遅刻や欠席をせず、チャイム着席を励行する。</li> <li>◎授業規律を守り、授業に集中する態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長や生活指導部を中心とした教員体制による毎朝の校門指導を実施した。年間の1日1クラス当たりの遅刻者数は2.9人(昨年2.4人)と昨年に比べ増加した。</li> <li>・全体として苦情は減少しているが、登校時や自転車のマナーについて苦情があった。巡回を行うなど迅速に対応した。</li> <li>・制服、髪型については概ね守られている。化粧については、継続して、今後も教職員が一枚岩となって粘り強く継続指導する。</li> <li>・チャイム着席は概ね定着している。</li> <li>・通年でPTAの協力が得られ、登校安全週間を実施できた。今年度の2・3学期は、地域自治会の協力も得られた。</li> </ul>

⑤ 特別活動 部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に主体的に参加する態度を育成し、自主性や創造性を育てる。</li> <li>・生徒全員が、部活動、生徒会・委員会活動、の何れか必ず所属するように働きかける。</li> <li>・推薦に基づく入学者選抜における「文化・スポーツ等特別推薦」を活用し、部活動全体の一層の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中で、体育祭・文化祭は学年単位で分散実施した。次年度も継続して、体育祭委員や文化祭委員が運営に主体的にかかわることにより、充実した内容で実施していきたい。</li> <li>・部活動加入率が 50% (昨年 49.2%) と目標の 60% には達しなかった。</li> <li>・1 学年入学時に全員の部活動参加を指導するなど、部活動加入率の向上を目指し、次年度も引き続き取り組んでいく。</li> <li>・合唱部が金賞を受賞し、演劇部は国立劇場での特別公演に出演した。</li> </ul>
⑥ 生徒募集、広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣中学校との連携を強化するとともに、ホームページの充実により、本校の良さを地域や小・中学校等に積極的にアピールする。</li> <li>・生徒、保護者等への情報提供の手段としてソーシャルメディアを活用するために規程を整備し、安全かつ適切な運用を行う。</li> <li>・HP の随時更新を行い、生徒の活動状況を適宜発信する。</li> <li>・募集対策委員会を設置し、組織的な募集対策活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世田谷区内の区立中学校からの要請で、出前授業を行った。中学生から大変好評であった。</li> <li>・ホームページは、約 100 回 (昨年 120 回) 更新することができた。近隣の中学校からの応募も増えてきており、補習や補講の写真を掲載するなど、面倒を見る姿勢をさらに PR する。</li> <li>・硬式野球部、合唱部で文化・スポーツ等特別推薦を実施した。一次倍率は 1.06 倍 (昨年 0.96 倍) であったが、当日欠席があり一次募集で定員を確保できなかった。</li> <li>・募集対策委員会を中心に、学校見学会、部活動体験会、学校説明会を 10 回 (昨年 12 回) 実施し、参加者総数は、約 1,200 名 (昨年 1,440 名) で微減した。7 月と 12 月には外部の説明会にも参加した。次年度に向けて、さらに広報活動を工夫する。</li> </ul>
⑦ 健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティ教室や交通安全教室、食育に関する講演会などを開催し、偏食、睡眠不足などの生活習慣の乱れ、交通事故などを防止し、健康的な生活習慣を確立させる。</li> <li>・安全教育推進校として、安全教育を推進する取り組みを行う。</li> <li>・スクールカウンセラーの活用により、教育相談体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車安全教室、薬物乱用防止教室、SNS についての講演会を実施した。</li> <li>・安全教育推進校事業の一環として、「生命 (いのち) の安全教育」に関する公開授業を実施した。</li> <li>・スクールカウンセラーによる 1 年生全員面接やカウンセリングを実施した。保健室の 1 年間の来室人数は、1,411 名 (昨年 1,158 名) となり、増加した。中でも相談による来室が 55 件 (昨年 7 件) となり、かなり増加した。情報を共有し、精神的なケアを心がける必要がある。</li> <li>・ホームルーム担任による学期ごとの面談を全生徒対象に実施した。</li> <li>・今年度は、必要に応じて SC 情報交換会を実施し、生徒理解を深めた。また、拡大学年會を 1・2 学期に行い、生徒状況の共有を図った。</li> </ul>

(2) 重点目標及び数値目標

	目 標	報 告
制 営 組 織 体 ① 学校経	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の充実度に対する生徒の肯定的な回答を 70% 以上にする。 (R3=67% R2=72.3% H31=65.7%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の充実度に対する生徒の肯定的な回答は前年度より微減し、83%(67%)と前年度より 16% 増加し、目標値の 70% 以上を上回った。</li> </ul>
② 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進計画を具体化するとともに、学ぶ意欲を引き出しつつ基礎学力の定着と応用力の育成を図る。</li> <li>・授業改善に対する肯定的な生徒の回答を 60% 以上にする。 (R3=65% R2=67.3% H31=52.0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科で検討し、基礎学力の定着と応用力の育成に取り組んだ。授業改善の肯定的な回答は 57% (昨年 67.3%) と前年度より 10% 減少し、目標値の 60% に到達できなかった。2 年生が 46% で低い結果だった。原因を探り、今後も積極的に授業改善に取り組む。</li> <li>・考査前の補習は、各学年で実施された。</li> </ul>

③ 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と各学年及び教科が一体となってキャリア教育を推進し、進路実現に向けて取り組む。</li> <li>・進路指導に対する肯定的な生徒の回答を 60%以上にする。(R3=63.2 R2=67.0% H31=53.7%)</li> <li>・大学および短期大学への進学率を 50%以上にする。(R3=45.3% R2=45.3% H31=30.0%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導に対する肯定的な生徒の回答は、76.7%と、前年度 62.3%より 14%増加した。この数値は全学年の平均値であるが、1・2 年生の結果も 70%を超えており、1・2 年次の進路指導の工夫した成果が出た。</li> <li>・大学・短期大学への進学率は 47% (昨年度 45.3%)となり、昨年度を若干上回った。目標値の 50%以上に届かなかったが、生徒の進路希望を丁寧に聴き取り、それに沿った進路実現への支援を着実に進行。</li> </ul>
④ 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、身だしなみ、頭髪、服装等の指導を継続して行い、規律ある学校生活を送らせる。</li> <li>・特別指導のあり方を見直し、個に応じた指導を強化する。</li> <li>・生活指導に対する肯定的な生徒の回答を 70%以上にする。(R3=63% R2=67.7% H31=51.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動の減少を目指し、生活指導部と各学年が連携し、組織的な指導を実践した。</li> <li>・過去3年間の肯定的な回答は 67.7%→63%→76.3%となり、昨年度より13%増加した。生活指導部中心に努力した成果である。目標値の 70%以上を達成し、より納得させる指導を展開したい。生活指導の徹底は近隣からも一応の評価があり、継続的に進める。</li> </ul>
動⑤ 特別活動・部活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、部活動・委員会活動等に積極的に参加させ、有意義な学校生活を送らせる。</li> <li>・「文化祭に積極的に参加し、その活動に満足している。」の肯定的な生徒の回答を 70%以上にする。</li> <li>・体育祭に積極的に参加し、その活動に満足している。」の肯定的な生徒の回答を 70%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事は、分散開催となったが、満足度は、体育祭 83.3%、文化祭 84.3%となり、前年度より約 20%増加した。生徒がさらに主体的に取り組む行事を目指す。</li> <li>・部活動について、1 年生は年度当初に全員参加を奨励したが年度途中で活動しなくなる生徒も多かった。部活動参加率は、全学年平均で 50% (昨年 49.2%)と微増した。生徒が積極的に部活動に参加し、部活動が活性化していく学校造りを目指す。</li> </ul>

## 2 次年度以降の課題と対応策

### ①組織的な学校運営の充実

- ・学校経営計画実現のために、各学年、分掌および教科の連携をさらに強化し、生徒の自己実現を図るための教育活動を推進する。
- ・企画調整会議を中心に、分掌と学年、教科との協力体制を強化し、学校の課題を全体で共有する。
- ・千歳丘高校ランドデザインを踏まえた新教育課程の具体的なカリキュラム及びルーブリック評価を実践する。
- ・総合的な探究の時間を軸に、教科横断的で企業等と連携した探究学習を確立する。

### ②学習指導の充実

- ・教科主任を中心とした組織的な教科指導体制を確立し、充実した学習指導の実現に努める。
- ・指導と評価の一体化を図り、次に向かう意欲を喚起できる指導を確立する。
- ・生徒による授業評価を分析・研究し、授業改善に生かす。
- ・授業力向上研修や ICT 機器活用研究等を通じて、興味・関心・意欲を引き出す授業を実践する。
- ・家庭学習を定着するために、宿題や課題を具体的に提示する。Teams を活用した課題配信を行う。
- ・多様な生徒に対応するため、土曜講習、放課後補習及び夏季講習等で、基礎講座や発展講座を開講し、生徒の学習意欲を喚起し、生徒の学力向上を目指す。

### ③ 進路指導の充実

- ・Teams を活用し、進路指導部・学年・教科等が協働して、キャリア教育をより充実させる。
- ・大学等進学希望者に対して、推薦入試対策として小論文・面接指導を全校体制で継続実施する。
- ・放課後の自主学習環境を整え、長期休業中の進学講座を計画的に実施し、希望進路実現 100%を目指す。

### ④ 生活指導の充実

- ・規範意識の向上を目指し、具体的に次の項目を掲げ、指導する。
  - 1 公共の場・交通機関でのルール・マナーを守ることができる生徒…自転車通学時のマナー向上
  - 2 時と場に応じた、身なりや所作がきちんとできる生徒…華やかな装飾や化粧への指導
  - 3 相手の立場を踏まえた適切なコミュニケーションができる生徒…場面に応じた適切な言葉遣い
  - 4 時間を意識して、行動できる生徒…遅刻防止、集合時間の遵守やチャイム着席の徹底
  - 5 授業規律を守ることができる生徒…授業に集中すること、他の生徒に迷惑のかかる行為の禁止
- ・人権尊重の教育を推進し、いじめや体罰が起こらない学校環境を構築する。
- ・SC 情報交換会での情報共有などとおして、さまざま課題を抱える生徒にきめ細かい相談や支援を行う。
- ・カウンセリングマインドを生かした生徒指導を充実させる。
- ・家庭との連携を強化し、遅刻常習生徒の指導を進める。
- ・安全教育推進校の経験を生かし、登下校や自転車通学のマナー、生命(いのち)の安全教育等の指導を強化す

る。

⑤ 特別活動の充実

- ・生徒会活動を活性化し、文化祭・体育祭等の学校行事を通じて生徒に成就感・達成感を持たせる。
- ・生徒会活動、委員会活動、部活動等の何れかの参加を奨励し、特別活動を活性化する。
- ・地域との連携をさらに強化し、地域貢献活動(防災活動を含む)を発展させる。